

# 中野市総合防災訓練 「防災フェア2017」



● 市政一般質問	陳情	その他	決議	意見書案	人事案	事件案	決算案	予算案	条例案	● 議案等件数及び議決内容	開会	閉会	会期
53件	1件	1件	2件	4件	1件	2件	9件	7件	5件	不採択	可決	可決	22日間
		可決	可決	可決	選任	同意	可決	承認	認定	可決	可決		9月5日
		不採択	可決	可決	選任	同意	可決	承認	認定	可決	可決		9月26日

9月定例会



防災について

原澤 年秋

**質問** 8月29日の全国瞬時警報システム（Jアラート）作動時における本市の対応及び市民からの問い合わせ状況は。

**答弁** Jアラートによる情報の伝達が行われた際、危機管理課職員が登庁し、状況把握を行い、市民への対応と、県に対し、Jアラートの作動状況を報告した。市民からは放送内容に関する問い合わせが2件あった。

**質問** 中野市総合防災訓練「防災フェア2017」への市民及び各種団体の参加状況は。

**答弁** 20の団体・企業が出席され、1千300人を超える皆様にご来場いただいた。

**質問** 市民の反応はどうか。  
**答弁** 家族連れでの来場者が目立ち、防災意識の高揚に効果があった。また、当日実施した来場者アンケートでは、86%の方から好意的な評価をいただいた。出展団体・企業へのアンケート調査も実施中であり、今後、課題を整理し、必要に応じて、訓練の見直しをする。

**質問** 避難所に指定されている小・中学校の防災機能の状況は。

**答弁** 備蓄品については、各中学校区に備蓄倉庫を設けており、災害時には迅速な対応が可能である。防災機能については、学校施設であるため十分な状況にないが、災害時の通信手段となる電話回線は整備しており、断水時のトイレの洗浄はプールの水で対応可能である。なお、災害に伴う停電時の自家発電設備はない。

**小・中学校の冷房設備について**

**質問** 本市の小・中学校の教室数と冷房設備設置済み

教室数は。

**答弁** 本年4月1日現在、小・中学校の全ての部屋数は545室、そのうち冷房設備設置済みの部屋数は68室で、設置率は12・5%であり、県平均を上回っている。

**質問** 学校現場から冷房設備設置の要望等はあるか。

**答弁** 冷房設備設置の要望はあるが、普通教室は天井扇風機で対応している。

**質問** 今後、冷房設備を設置する考えは。

**答弁** 天井扇風機の効果やさらなる学習環境の改善施策の必要性の有無を研究し、判断する。

**市道若宮田表線について**

**質問** 市道若宮田表線の拡

幅及び歩道の設置は。  
**答弁** 当該路線は、大型車交通量が多く、また、今後、小学校の統廃合に伴い、通路となる可能性があるため、地元区及び関係者と協議し、用地幅、歩行者の利用状況等を調査し検討する。



「学びの改革 基本構想」に対する市長の見解について

小林 忠一

**質問** 県教育委員会では、急激な少子化や近い将来、社会から求められるAIやロボットへの対応能力の向

上、新大学入試制度の導入等を踏まえ、今後の高校の在り方等を議論するため「学びの改革 基本構想」

を策定し、地域懇談会を旧12通学区ごとに実施した。少子化が進む中、本市にある高校については、今後、2校存続が難しい状況も予想される。今後の市内高校の在り方に対する見解は。

**答弁** 現在、市内には中野立志館高等学校と中野西高等学校があるが、現段階においては存立できる状態にあると考えている。今後も進学の受け皿や近隣通学が確保されること、普通科・総合学科など選択肢が十分であること、市内に高校生が通学し活気ある街並み維持が必要と考えている。

「学びの改革 実施方針（案）」の作成に向けて、広く県民の意見を聴くため、県下12会場で旧通学区ごとに地域懇談会を開催された。今後の県教育委員会の動向を注視していく。



教育委員会では、広く各方面の意見を聴くこととして、いるが市の対応は。

**答弁** 今後の県教育委員会の動向、議論の方向性等を注視し、地域としてどのような対応をしていくか、検討していく。

**質問** 中野立志館高等学校には総合学科があり、中野西高等学校には普通科があ

る。須坂市に、普通高校及び専門高校がある現状を踏まえ、各学科の地域バランスをどのように考えるか。

**答弁** 地域等において、高校教育における学科の在り方、高校がどうあるべきか等の議論の盛りあがりを期待している。

**中学校における進路指導について**

**質問** 総合学科への進学を希望する生徒への進路指導は、どのように行っているのか。

**答弁** 進路指導は、中学1学年時から行い、進級することによって時間を増やしている。進路指導の一環として、

職場体験活動を中心としたキャリア教育にも取り組んでいる。今後も個々の生徒にあつた進路指導に努める。

その他の質問  
**奨学金制度の拡充について**

(注) A1  
言語の理解、論理的な推論、経験からの学習等を行うコンピュータプログラムのこと。一般的に「人工知能」と訳される。既にインターネットの検索エンジン等の効率化等に用いられており、今後、幅広い分野での貢献が期待されている。

委員会及び空家等対策協議会において、総合的かつ包括的に検討する。

## 市長の政治姿勢について

青木 豊一



**質問** 条例に基づく市長の資産等報告書の作成が遅れた原因は何か。

**答弁** 資産等報告書の作成に係る条例の解釈を誤ったため。

**質問** 資産等報告書の作成が遅れたことに対する今後の対応は。

**答弁** 作成が遅れたことへの責任を重く受け止め、平成29年10月分の給料を10%減額する。

**質問** 市長給料を1か月間、10%減額とする根拠は。

**答弁** 自らの責任を重く受けとめたものであり、関係条例の改正をご審議いただくものとしている。

**質問** 資産等報告書の作成が遅れたことについて、市民への謝罪が必要ではないか。

**答弁** 市民の皆様には深くお詫び申し上げます。

**北朝鮮による核実験について**

**質問** 北朝鮮による核実験

が強行されたが、市長の見解及び今後の対応は。

**答弁** 北朝鮮による核実験が行われたことは、大変遺憾に思っている。「非核平和都市宣言」を行っている本市としても大変残念である。今後とも世界情勢や国の動向を注視したい。

**市道の安全管理について**

**質問** 市道の安全管理及び点検は、どのように実施しているのか。

**答弁** 道路の傷み具合などの調査を実施しており、道路の現状把握に努めている。

**質問** 豊田温泉公園もみじ荘前の市道で発生した事故への対応は。

**答弁** 道路構造上の問題は

ないと考えているが、同様の事故が発生しないよう安全対策を行った。

**質問** 事故当事者との話し合いには、今後も対応されるのか。

**答弁** 今後も話し合いを拒むものではない。

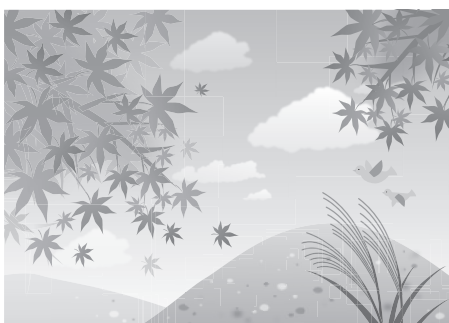
**高齢者等の住宅確保について**

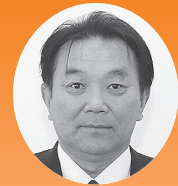
**質問** 市内の空き家の状況及びその対応は。

**答弁** 現在、空き家の所有者等の調査を行っており、判明した所有者に対して適正管理を促す通知を行った。

**質問** 民間及び行政の連携により、高齢者等に空き家

をあっ旋すべきでは。





市長の政治姿勢について

松野 繁 男

**質問** 中野市の人口減少は2市村合併後、12年間で3千600人余り、率にして約9%減少している。特に周辺地域の減少が著しいが、対策とその効果はどうか。

**答弁** 「中野市まち・ひと・しごと創生総合戦略」に基づき、自然減の抑制や社会増への転換に資する事業を実施しているが、現在は目標人口を下回っている。

**質問** 周辺地域の存続や同地域に今後安心して住み続けられるための施策は。

**答弁** 生活していくために

は、生業が必要である。産業誘致や子育て環境を整え、人口の増加を図りたい。

学校統合について

**質問** 小学校統合まで北部地区は2年半、豊田地域は3年半となった。今後のスケジュールは。

**答弁** 校名を決定する作業を優先している。12月議会に関連議案を提案したい。

**質問** 施設整備について、今後、こうした地域に生まれ、通学する子ども達のためにもしつかりとした予算措置をすべきではないか。

**答弁** ハード面、ソフト面を含め、信頼される、魅力ある学校づくりを進める。

有害鳥獣対策について

**質問** 有害鳥獣が増え続けている一方、猟友会会員が減少している現状がある。今後の対策として専門のスタッフを置く「有害鳥獣対策室」を新設できないか。

**答弁** 猟友会の協力で駆除等を進めている。現在は、専任者1人を配置しており現状の中で対応していく。

**質問** 国体の開催が49年ぶりの長野県に内々定した。中野市も競技誘致に手を挙げるべきではないか。

**答弁** 競技誘致をすることで、本市のスポーツ振興や観光振興、地域経済の活性化が見込まれることから、市営野球場や多目的サッカー場等、施設の状況を確認しながら判断する。

**質問** JR飯山線運休の際の利用客に対する情報伝達方法はどうか。

**答弁** JR飯山駅から直接、音声告知放送により放送した。今後は、中野市すぐメール等も活用したい。

災害発生時の情報伝達について

**質問** JR飯山線運休の際の利用客に対する情報伝達方法はどうか。

**答弁** JR飯山駅から直接、音声告知放送により放送した。今後は、中野市すぐメール等も活用したい。

**質問** 利用者から路線バス及びふれあいバスのバス停の増設等、利便性向上を望む声が多いがその対応は。

**答弁** 利用者の増加等に向け、バス停の増設等の改善を検討する。

8月17日の豪雨災害について

**質問** 農地に被害が集中している。市の対応はどうか。

**答弁** 来年の作付けに間に合うよう速やかに対応する。復旧に当たっては地元区、地権者等とも協議する。

公共交通の利便性向上について

**質問** 利用者から路線バス及びふれあいバスのバス停の増設等、利便性向上を望む声が多いがその対応は。

**答弁** 利用者の増加等に向け、バス停の増設等の改善を検討する。

その他の質問  
全国瞬時警報システム（Jアラート）について

率が政令市を除く市区の中で第2位と高い。今後、非正規職員の比率を減らし、公共施設の適正管理を推進するためにも、事業の直営を見直し、業務委託、指定管理の活用等、民間活力を積極的に活用したかどうか。

**答弁** 平成32年度から導入される会計年度任用職員制



「信州中野」のブランド戦略について

町田 博文

**質問** 「童謡・唱歌のふるさと」、「故郷のふるさと」の信州中野を、もっと強力

に発信できないか。

**答弁** 文化の祭典でもあるオリンピック・パラリン

ピックを3年後に控え、各種イベントの一層の充実を図るとともに、新たなイベントについても研究していく。また、平成31年度には知音都市交流が30周年を迎え、本市において記念事業を行う予定である。

**質問** 「信州中野市」への名称変更の検討をスタート

**質問** 総務省の調査によれば、中野市は非正規職員比

が政令市を除く市区の中で第2位と高い。今後、非正規職員の比率を減らし、公共施設の適正管理を推進するためにも、事業の直営を見直し、業務委託、指定管理の活用等、民間活力を積極的に活用したかどうか。

度の適切な運用に向けた準備を進めていく。また、本年度、総合窓口業務や電話交換業務を外部委託した。指定管理については、毎年導入できる施設があるかを調査しており、今後もどの事業が民間活用できるものか研究していく。

市役所新庁舎の見学会について

質問 建設途中の現在でも見学希望の声がある。見学

会開催の予定はあるか。

答弁 10月12日開催の「市の施設見学」において、建設現場を見学することとしている。また、竣工式に併せて、市民を対象とした内覧会を予定している。

「都市鉱山からつくる！みんなのメダルプロジェクト」について

質問 この事業を子どもたちも巻き込んで、全市的に取り組めないか。

答弁 小・中学校等でのPRは可能と考えるが、携帯電話等の回収は、保護者の判断が必要と考えるので、実施する予定はない。

して、また、中山晋平記念館等のお土産券としても使えるようにできないか。さらに、交付年度の未使用分を翌年度へ繰り越して使用することはできないか。

質問 「きのこそばサラダ」を提供する「ぼんぼこの湯」が「信州食育発信3つの星レストラン」に認定された。利用券・助成券を市内温泉施設での食事券と

質問 「きのこそばサラダ」を提供する「ぼんぼこの湯」が「信州食育発信3つの星レストラン」に認定された。利用券・助成券を市内温泉施設での食事券と

その他の質問  
オリンピック・パラリンピック教育の推進について

学校給食の無償化について

(注) 「都市鉱山からつくる！みんなのメダルプロジェクト」  
2020年 東京オリンピック・パラリンピック競技大会で使用する約5千個のメダルを携帯電話、小型家電等のリサイクル金属により製作する取り組みのこと。この大会をきっかけとし、持続可能社会の仕組みづくりを目指す。



住みよさランキング2017について

芦澤 孝幸

質問 先ごろ発表された、全国住みよさランキング2017における中野市の結果をどう分析するか。

答弁 本市は、全国で43位、県内19市では1位であった。このランキングは、様々な分野の公的統計を用い、独自に算出した15の指標を5つのカテゴリーに分類しランキング化した

婚活支援について

質問 市内の未婚者の現状

ものである。病院・一般診療所の病床数の多さ、大型小売店の店舗面積の広さ、1住宅当たりの延床面積が広いことなどが上位にランキングされ、好順位になったものと分析している。

質問 市内の未婚者の現状

はどうか。  
答弁 平成27年の国勢調査によると、20歳以上の方では、男性1万7千207人の方では、未婚者は4千273人で24・8%、女性1万8千824人のうち、未婚者は2千805人で14・9%である。

中学生派遣事業について

質問 被爆地派遣事業の経過と成果をどう考えるか。

答弁 本年度、新たに開始した中野市めぐりあいセッティング事業補助制度を推進し、各団体による結婚支援活動を支援していく。

高校再編について

その他の質問

質問 派遣事業拡大の考えはあるか。  
答弁 今後は、もう一つの被爆地である長崎市にも派遣することを研究していく。





### 中野市人口ビジョンについて 堀内 臣夫

質問 施策効果の検証はどうか。

答弁 「中野市まち・ひと・しごと創生総合戦略」に基づき、各種事業を進めているが、想定を上回る人口減少となっている。引き続き、PDCAサイクルにより施策効果を見極める。

質問 目標人口の見直しをすべきではないか。

答弁 平成27年国勢調査ベースの推計が示された時点でデータの検証を行い、見直しの必要性を検討する。

中野市まち・ひと・しごと創生総合戦略について

質問 2年目の評価はどうか。

答弁 基本目標及び重要業績評価指数51項目のうち、「達成」、「順調」、「概ね順調」であると評価された項目は32項目、62・7%で、昨年と比較して7項目の増となった。

質問 基本目標の実績値及び進捗状況と今後の取り組みはどうか。

答弁 評価の仕方は、各項目の進捗率が40%以上の場合を「順調」、32%以上40%未満を「概ね順調」、32%

未満の場合を「努力を要する」等としている。合計特殊出生率は1・58で「順調」、婚姻届件数は553件で「順調」、転入者数は1千246人で「順調」、住みよいと感じる市民の割合は77・7%で「順調」、市内事業所就業者数は、平成28年度の速報値は1万8千232人で「達成」、健康寿命は平成26年度の数値で、男性は80・22歳で「概ね順調」、女性84・15歳で「達成」の評価である。小さな拠点の形成は、実績がなく「効果が表れていない」である。今後は、継続的にKPIの達成状況を把握し、PDCAサイクルにより改善を図る。

質問 きのこミュージアム構想について

答弁 きのこミュージアム建設への支援体制は。

答弁 本年度から、事業主体となる会社の設立に向け、検討に入ったとのことである。本市としても、重要な基幹産業の取り組みでもあることから、できる限りの支援をしていく。

中野市放課後児童クラブについて

質問 児童の受け入れ状況はどうか。

答弁 市内14カ所で児童クラブを運営している。入所条件を満たしている児童は全員入所しており、待機児童はいない。

質問 施設環境はどうか。

答弁 国の基準を基に条例を制定し運営している。施設利用者が多い日は、室内で自由に遊べない施設があることは承知しているが、

質問 きのこミュージアム構想について

答弁 きのこミュージアム建設への支援体制は。

答弁 本年度から、事業主体となる会社の設立に向け、検討に入ったとのことである。本市としても、重要な基幹産業の取り組みでもあることから、できる限りの支援をしていく。

中野市放課後児童クラブについて

質問 児童の受け入れ状況はどうか。

答弁 市内14カ所で児童クラブを運営している。入所条件を満たしている児童は全員入所しており、待機児童はいない。

質問 施設環境はどうか。

答弁 国の基準を基に条例を制定し運営している。施設利用者が多い日は、室内で自由に遊べない施設があることは承知しているが、

きのこミュージアム構想について

答弁 きのこミュージアム建設への支援体制は。

答弁 本年度から、事業主体となる会社の設立に向け、検討に入ったとのことである。本市としても、重要な基幹産業の取り組みでもあることから、できる限りの支援をしていく。



### 市長の政治姿勢について 阿部 光 則

質問 本年7月に国連では、

核兵器禁止条約が参加国の

圧倒的多数の賛成により採択された。国際法によって核兵器に初めて「悪の烙印」が押され、核兵器で他国を威嚇することも違法とされた。日本は、世界唯一の戦争被爆国であり、条約に参加すべきと考えるがど

質問 存在が明らかになっ

た工事に関する学位論文では、工事箇所は比較的新しい地質のため難工事となり、最大14cmも地盤沈下したとの記載がある。このことをどう受け止めているか。

答弁 論文は、工事の施工方法等について書かれてお

現在の施設を有効に活用して、工夫を凝らし対応する。

### 新市民会館について

その他の質問

(注)

PDCAサイクル

Plan(計画)・Do(実行)・Check(評価)・Action(改善)の頭文字をつなげてPDCAサイクルと呼ばれる。

計画の作成、計画の実行業務結果の評価、計画に沿わない点の改善の4つを繰り返すことで、業務効率の向上を図る取り組みのこと。

KPI

組織において、個人や部門の業績を評価するための指標のこと。一般的に「重要業績評価指標」と訳される。目標達成に必要となる項目について指標を設定し、その指標をもとに、進捗把握や業務改善などが行われる。

り、市や住民向けではなく  
工事施工の参考論文である  
と認識している。

**質問** 新幹線開業後も継続  
的な地盤沈下、振動等の訴  
えを聞く。地盤沈下等への  
対応は個々ではできず、市  
の対応が必要である。市民  
が気軽に相談できる窓口を  
設置すべきではないか。

**答弁** 相談は、道路河川課  
で受け付けている。不安を  
取り除くため、市民に寄り

添った対応をしていく。

### 国民健康保険制度について

**質問** 来年4月からの国民  
健康保険制度の都道府県化  
に伴い、県も市町村ととも  
に保険者として財政運営の  
責任主体となる。新制度施  
行に向け厚生労働省は、国  
保ブロック会議で公費の投  
入方法や3回目の保険税の  
試算方法等について説明し、

平成30年度の保険税に激変  
が生じないよう検討を求め  
た。中野市において各試算  
を比較した結果はどうか。

**答弁** 県では、3回目の試  
算中であり、結果が示され  
ていないため比較できない。  
**農業委員会制度について**

**質問** 多くの農業関係者の  
反対を無視し、農業委員会  
法が改正されている。中野

野に入れ、振興に取り組む。

### 「ふるさとづくり」について

**質問** 防災・火災情報や市  
からの緊急連絡等に使用し  
ている防災行政無線を活用  
し、中野市出身の中山晋平

先生、高野辰之博士等のメ  
ロディを定時放送したらど  
うか。

**答弁** デジタル化工事によ  
る機器の入れ替えが完了す  
る本年11月から、市内全域  
を対象に、正午と夕方の一  
日2回の定時放送を行う。

**質問** 多くの農業関係者の  
反対を無視し、農業委員会  
法が改正されている。中野

### 観光振興について

**質問** 信州中野観光セン  
ター及び隣接する農産物直  
売所へ来館される方の利便  
性を考慮し、両施設間に連  
絡通路を設置したらどうか。

**答弁** 当面は、現状のまま  
観光センターの設置目的で  
ある本市及び周辺地域の観  
光案内所としての情報発信  
の充実に努める。

### 市内企業への就職者増加策について

**質問** 市内企業への就職者  
増加策として、広報なかの  
を利用して求職者及びその  
家族に対し、市内企業の紹

めていくが、地域農業の主  
体は家族農業である。これ  
を踏まえた委員会運営を行  
うべきであるがいかがか。

**答弁** 日本の農業は家族農  
業が担っている面もある。  
今後も多様な経営体を支援  
していく。

### その他の質問 介護保険制度について 木島線廃線敷について

介をしたらどうか。

**答弁** 広報なかのや市公式  
ホームページで市内企業の  
紹介記事を掲載するなど、  
広く情報発信を行い、雇用  
確保の支援をしたい。

### 8月17日の大雨について

**質問** 大雨により被害を受  
けた農道等への対応は。

**答弁** 県と連携を図り、被  
災規模の大きいものは国庫  
補助金の活用も視野に入れ  
早期復旧に努める。

### その他の質問

**中野市総合防災訓練につい**



### 中野市消防団活性化計画 について

永沢 清生

**質問** 消防団協力事業所数の増加策及び協力事業所への支援策は。

**答弁** 増加策として、市公式ホームページ、広報なかの等を通じ、広く制度の周

知を図る。支援策として、入札において総合評価落札方式による優遇措置を行っている。  
**質問** 消防団の組織体制の強化策は。  
**答弁** 団員確保に苦慮される地域もあるため、早い段階で方向性を示したい。  
**質問** 団員の装備充実化は

どのように進めるのか。  
**答弁** 本年度、多数傷病者発生時に備えた応急処置セットやAED、団員間の連絡用としてトランシーバーを整備した。なお、AEDについては、本年度から3カ年計画で各分団に整備する。



の意見を聴き、教育委員会にて検討していきたい。



### 投票率の向上について

芋川 吉孝

**質問** 長野県内19市における投票率の順位は。

**答弁** 近年の選挙での投票率は、下位に低迷している。

**質問** 県内でも投票率の高い地域、低い地域があるが、その違いは投票に対する意識の差であると考え。より一層の啓発活動が必要と考えるがどうか。

**答弁** 明るい選挙推進協議会とも連携し、一層の啓発活動を実施したい。

**質問** 小・中学校における選挙に関する学習状況は。  
**答弁** 学習指導要領に基づ

き選挙の意義、議会政治を学習。明るい選挙啓発ポスターを募集し、啓発活動を実施している。また、市内6年生を対象に子ども議会を4年間で全11校が経験するように取り組んでおり、将来の有権者としての意識を高める教育を推進している。

### 健康寿命の延伸について

**質問** 「健康長寿のまちなみ」をした目的は。

**答弁** 自分の健康は自分でつくるという自覚と認識の

もとに、健やかで心豊かに生活が送れることを目的として宣言した。  
**質問** 平均寿命及び健康寿命の数値並びに県内19市における順位は。  
**答弁** 平成22年国勢調査を基にした県公表の数値では、平均寿命は男性80・34歳で14位、女性は86・72歳で16位、健康寿命は男性が78・83歳で13位、女性は83・52歳で14位である。

**質問** 故日野原先生の影響で近年拡大している、サキベジ運動への見解は。  
**答弁** 食事の際、野菜から食べ始めることは、血糖値の変動を抑制できるとの研究報告もある。いずれにしてもバランスのよい食事と運動、休養が大切であり、今後も周知・啓発を行う。

### 文化財について

**質問** 埼玉県坂戸市の葉酸プロジェクトは、認知症や脳梗塞等の予防に効果があるとされる葉酸を一定量摂取する取り組みである。中野市でも研究してはどうか。  
**答弁** 今後、研究したい。

**質問** 文化財指定を受けた文化財の種類及びその数は。  
**答弁** 国指定として、チヨウケンボウ繁殖地、史跡高梨氏館跡、柳沢遺跡出土品、県指定として、県宝が鉦鼓、高遠山古墳出土品、他に史跡。国・県・市を合わせ69件が指定されている。  
**質問** 昭和57年大俣地域より出土の土偶姥ヶ沢ビーナスの県宝指定申請はどうか。  
**答弁** 市文化財保護審議会

### (注) サキベジ運動

食事の際、先に野菜(ベジタブル)から食べて、健康を増進させる取り組みのこと。先に野菜を食べることで、必要量以上に食べることを防ぎ、また、食事に含まれる糖分や脂質の吸収を抑制することができ、生活習慣病の予防につながるものとされている。

### 鉦鼓

仏教における読経、礼拝等の勤行を行う際に、叩いて音を出す円形青銅製のかねこと。





## 「信州中野市」への 名称変更について

清水 正 男

**質問** 市の名称変更について、市民、中野市出身者及び各種団体からの要望は。  
**答弁** 信州中野商工会議所やふるさと信州中野会の会員の皆様のほか、会議等の出席者から要望をいただくことがある。

体的な検討を行う考えは。  
**答弁** 市の名称変更については、シンポジウム等を通じて市民の考えをお聴きするとともに、幅広く多様な意見を議論して、熟慮を重ねる。

## ふるさと寄附金について

**質問** 市の名称変更、市民会館建設、基幹産業である農業振興等に要する費用に充てることを明示するなど、具体的な使途を示して、ふるさと寄附金を募集してはどうか。  
**答弁** 実施計画などにおいて、事業計画が具体化した段階で、ふるさと寄附金を充てることが適当かを判断して検討する。

## 農業分野における国家戦略特区について

**質問** 長野県が提案した農業分野における国家戦略特区の内容は。  
**答弁** 外国人技能実習制度の要件緩和と専門技能を有する外国人の農業就労の解禁である。外国人技能実習制度の要件緩和については、在留最長3年間は継続して実習する必要があるものが、期間内での一時帰国と再入国が認められ、また、複数の実習機関での実習が

認められるものである。  
**質問** 国家戦略特区の指定を見据え、JA及び各種団体と連携し、外国人就労の受け入れを検討すべきでは。  
**答弁** 長野県の提案が国の指定となることを想定し、国、県、JA等と連携し、受け入れ態勢を整えたい。  
**質問** 国家戦略特区指定による外国人就労を受け入れた場合の中野市農業への効果は。  
**答弁** 夏場は園芸に従事し、冬場は菌茸にシフトすることが可能であると考える。

## 総務文教委員会報告

総務文教委員会に付託された専決処分の報告2件、条例案3件、予算案2件、陳情1件について、9月20日に審査しました。

主なものとして、条例案では、中野市特別職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例案で、市長給与の減額及び農地利用最適化推進委員の報酬を新た

に定めるもので、原案どおり可決されました。

予算案では、平成29年度中野市一般会計補正予算(第3号)について、補正総額2億4千74万7千を追加するもので、補正後の予算総額は、227億9千390万1千円となるものです。  
歳入では、地方交付税及び国庫支出金の増額、繰入

金の減額など。歳出のうち総務費で、自治会振興事業費の公会堂建設事業補助金210万9千円の増額、公共交通対策事業費の廃止路線代替バス運行費補助金194万5千円の増額などであり、原案どおり可決されました。

「安倍首相の提起する憲法9条の改定に反対し、憲

法を生かした政治の実現を求め、意見書の提出を求める陳情」については、不採択となりました。



## 民生環境委員会報告

民生環境委員会に付託された条例案1件、予算案4件について、9月20日に審査しました。

主なものとして、条例案では、中野市福祉医療費給

付金条例の一部を改正する条例案で、子育て支援及び少子化対策の推進のため、15歳までの子どもについて、平成30年8月診療分から窓口負担の軽減を図るた

め所要の改正を行うもので、原案どおり可決されました。

予算案では、平成29年度中野市一般会計補正予算(第3号)について、前年

度事業費の確定に伴う事業費返還金等を計上し、歳出のうち民生費では1千73万4千円、衛生費では53万円をそれぞれ増額するものであり、原案どおり可決され

ました。

そのほかの予算案3件については、原案どおり可決されました。

## 経済建設委員会報告

経済建設委員会に付託された条例案1件、予算案3件、事件案1件について、9月20日に審査しました。

主なものとして、条例案では、中野市農業委員会の

委員及び農地利用最適化推進委員の定数を定める条例案で、農業委員会の委員選出方法が、これまでの公選制から市長の任命制に変更となること及び農地利用最適

化推進委員制度が新設されたことから、それぞれの委員の定数を定める条例を制定するものであり、原案どおり可決されました。

中野市一般会計補正予算(第3号)について、7月の豪雨災害に係る復旧工事費等を計上し、歳出のうち農林水産業費では1千240万1千円、土木費では2千638

万4千円をそれぞれ増額するものであり、原案どおり可決されました。

そのほかの事件案1件については、原案どおり可決されました。

## 決算特別委員会報告

決算特別委員会に付託された決算認定議案9件、事件案1件について、9月14日、15日及び19日に審査しました。

主なものとして、平成28年度中野市一般会計歳入歳

出決算認定においては、歳入総額221億6千909万8千853円、歳出総額208億3千373万1千2円となるもので、市村合併以後、最大の決算額でありました。

歳入では、市税で固定資

産税、個人住民税所得割の増などで前年度比7・2%の増、市債で市庁舎整備事業の実施などで前年度比9・3%の増など。

歳出では、総務費で防災施設維持整備事業及び新庁

舎整備事業の実施などで前年度比64・4%の増、民生費で新みなみ保育園整備事業の実施などで前年度比13・6%の増、土木費で本年1月の豪雪に伴う除排雪などで前年度比5・7%の

増などであり、原案どおり認定されました。

そのほかの特別会計及び企業会計の決算認定議案8件、事件案1件については、原案どおり認定及び可決されました。

## ■意見書

(可決された意見書)

(関係行政庁に提出)

国の責任による35人学級  
推進と教育予算の増額を  
求める意見書

平成23年に公立義務教育諸学校の学級編制及び教職員定数の標準に関する法律(以下「義務標準法」という。)が改正され、小学1年生に35人学級の導入が決定し、加えて、附則においては、小学2年生から中学3年生までの学級編制標準も順次改定することを検討し、財源確保に努めるものと定められた。しかし、翌年の平成24年度は義務標準法を改正することなく、教員の加配で小学2年生を35人学級としたが、それ以降、国の35人学級の導入に進展が見られない。

長野県では、平成25年度に30人規模学級(35人基準)を中学3年生まで拡大した。しかし、義務標準法の裏付けがないため財政的負担は大きく、小学校では本来配置されるはずの専科

教員が配置されず、また、学級増に伴う教員増を臨時的任用教員の配置により対応するなど、課題も多く残されている。

いじめや不登校、生徒指導上の様々な問題が生じるなど多様化する学校現場に対応し、教員が一人ひとりの子どもと向き合い、行き届いた授業及びきめ細やかな対応を行うためには少人数学級は欠かせない。この少人数学級については、厳しい財政状況にある地方公共団体に負担を強いることなく、国の責任において早期に実現する必要がある。

また、長野県では少子化が進む中で、県や市町村が独自に教員を配置するなどして複式学級を解消しているが、地方自治体の財政的負担は大きなものとなっている。児童・生徒数が少ない市町村においても、行き届いた教育を実現させるため、国の責任において複式学級を解消するよう学級定員を引き下げることが大切である。

よって、中野市議会は、国に対し、下記事項の実現を強く要望するものである。

## 記

- 1 国の責任において計画的に35人学級を推進するために、義務標準法を改正し、同法の改正内容に基づき教職員定数改善計画を早期に策定し、着実に実行するとともに、そのための教育予算の増額を行うこと。
- 2 国の複式学級の学級定員を引き下げること。

## 「義務教育費国庫負担制度」の堅持を求める意見書

義務教育費国庫負担制度は、国が必要な経費を負担することにより、義務教育の機会均等とその水準の維持向上を図るための制度として、これまで大きな役割を果たしてきたところである。

しかし、国では財政状況を理由として、昭和60年度から次々と対象項目を外し、一般財源化されてきた。また、平成18年度から義務教育費国庫負担率が2分の1から3分の1に引き下げられ、地方財政を圧迫する状況が続いている。今

のままでは、財政規模の小さな県では十分な教育条件整備ができず、教育の地方格差の拡大が懸念される事態にすらなっている。

よって、中野市議会は、国に対し、平成30年度予算編成において、義務教育の水準の維持向上と機会均等及び地方財政の安定を図るため、下記事項を実現するよう強く要望するものである。

## 記

- 1 教育の機会均等とその水準の維持向上のために必要不可欠な義務教育費国庫負担制度を堅持し、負担率を2分の1に復元すること。

## 道路整備事業に係る補助率等の高上げ措置の継続を求める意見書

道路は、市民の安全・安心な暮らし、また、活力ある社会や経済活動を支えるとともに、災害時には市民の命を守るライフラインとして機能するなど、市民生活になくてはならない重要な社会基盤である。

現在、道路事業においては、道路整備事業に係る国の財政上の特別措置に関する法律(以下「道路財特法」という。)の規定によ

り、地域高規格道路事業や交付金事業の補助率等が高上げされているが、この措置は平成29年度までの時限措置となっている。

地方創生に全力を挙げている地方自治体にとって、高上げ措置の廃止は死活問題であり、本市の地域づくりに影響を及ぼし、地域活力の低下を招くことが危惧される。

よって、中野市議会は、国に対し、道路財特法の補助率等の高上げ措置を平成30年度以降も継続するよう強く要望するものである。

## 「核兵器禁止条約」への賛同と批准を求める意見書

広島・長崎の被爆から72年を経た本年7月7日、ニューヨーク国連本部で開催された「核兵器禁止条約交渉会議」において、122か国(国連加盟国の63%)の賛成を得て「核兵器禁止条約」が採択された。



この「核兵器禁止条約」は、核兵器が破滅的な結果をもたらす非人道的兵器であり、国連憲章及び国際人道法に反するものとして、歴史上初めて核兵器を国際条約で明確に「違法化」したものである。

また、条約では「hibaku-sha（ヒバクシャ）」の用語を使い、被爆者と核実験被害者の「受け入れ難い苦痛と損害」に留意し、その被害への援助及び支援の責任についても触れ、さらに核兵器廃絶を推進する「市民的良心の役割」の担い手として、市民社会とともに被爆者を明記していることは、「再び被爆者をつくるな」という被爆者の願いを大きく評価したものと考えられる。

しかしながら、唯一の戦争被爆国である日本が、核兵器禁止条約への批准を拒んでいることに対して、被爆者をはじめ、国内外の平和を願う多くの人々の中に批判と失望が広がっている。唯一の戦争被爆国であり、広島・長崎での被爆の惨状を経験している日本は、率先して核兵器禁止条約に参加し、条約への不参

加を表明している核保有国などを説得すべきであり、核兵器を廃絶し、核兵器のない世界の実現に向け先頭に立つことが必要である。よって、中野市議会は、国に対し、国是である「非核三原則」を堅持するとともに、核兵器禁止条約へ賛同し、批准するよう要望するものである。

## ■決議

### 金子高幸議員に対する議員辞職勧告決議

我々中野市議会議員は、議員として市民から負託を受けた立場と職責を十分認識し、法令、条例を遵守し、良識をもって市民の模範となるよう行動しなければならぬ。

とりわけ、男女共同参画社会基本法の理念に照らし、「男女が、社会の対等な構成員として、自らの意思によつて社会のあらゆる分野における活動に参画する機会が確保され、もつて男女が均等に政治的、経済的、

社会的及び文化的利益を享受することができ、かつ、共に責任を担うべき社会」の実現に向けて、我々市議会議員が率先して高度の倫理性と高潔性を備え、自覚ある振る舞いをしなければならぬ。

しかしながら、金子高幸議員は、平成26年5月7日、自ら所属していた市議会任意会派懇親会の席上、酔余、当時来賓として出席していた女性職員に対して、その手を握り、肩を組む・背中から腰部をさする等の行為に及び、これを目撃した同席者からの注意にもかかわらず、しばらくの間これらの行為を継続するなどした（以下「行為1」という）。

また、同年12月12日、懇親会の席上、酔余、同席した女性議員のでん部を手で触るなどの行為に及んだ（以下「行為2」という）。

金子高幸議員は、平成26年12月24日、所属の市議会任意会派からの処分がなされた際には、格別の反論は行わなかったが、その後も従前と同様に宴席に出席し、自らの各行為を否定する発言を行うなど、およそ反省・悔悟している者の行動

とは思われない振る舞いを継続している。

また、平成27年3月市議会定例会から平成29年6月市議会定例会まで、10回にわたり当議会において議員辞職勧告決議が可決されたにもかかわらず、金子高幸議員が市議会議員の職を辞することはなく、誠意ある態度も取られていない。

そして、金子高幸議員は、行為1及び行為2について報じた平成26年12月29日付け信濃毎日新聞朝刊に掲載された記事は事実と反する内容であり、それにより名誉を棄損されたとして、かつて所属していた市議会任意会派を被告として損害賠償を請求する民事訴訟を提起し、同訴訟において、行為1及び行為2は行っておらず、これと異なる当該女性職員、当該女性議員及び目撃証言を行った市議会議員数名は虚偽の証言をしていると主張していた。

これに対しては、当該民事訴訟（長野地方裁判所平成27年（ワ）第103号）に関して、平成29年8月10日に言い渡された判決において、行為1及び行為2が行われたことは真実であると認定

され、金子高幸議員が当該女性職員及び当該女性議員に対して、女性を著しく侮辱し、周囲に明らかに不快な思いを与える極めて不謹慎な行為を行ったことが真実であると断じられるに至った。

金子高幸議員は、中野市議会の度重なる辞職勧告決議にもかかわらず、行為1及び行為2が真実ではないと主張して、これまで市議会議員の職に留まってきたものであるが、当該判決により、議員辞職をしない理由に正当性がないことのみならず、金子高幸議員が自身のために殊更に虚偽の主張を継続していたことが明らかになった。

金子高幸議員のこれらの行動は、良識ある行動を取らなければならない市議会議員としてあるまじき行為であり、市民の信頼を裏切り、中野市議会の名誉を著しく傷つけるもので、断じて許すことはできない。

よって、中野市議会は、金子高幸議員に自らの良識と判断において、速やかに市議会議員の職を辞するよう強く求めることを決議する。

北朝鮮による弾道ミサイルの発射と核実験に強く抗議する決議

北朝鮮は本年8月29日及び9月15日早朝、日本上空を通過し太平洋沖に落下させる弾道ミサイルの発射を強行した。他国上空を通過させる弾道ミサイルの発射は、国際的常識を無視した極めて危険な行為である。

また、本年9月3日には、6回目となる過去最大規模の核実験をも強行した。本年7月の国連本部で開催された条約交渉会議で核兵器禁止条約が採択されるなど、国際社会が「核兵器のない世界」へ向け新たな歩みを進める中、これに真っ向から挑戦する危険な行為である。

国際世論を無視し、世界の平和と安定を脅かす危険な軍事的挑発を繰り返す北朝鮮の行為は絶対に許すことはできない。

よって、中野市議会は、北朝鮮による弾道ミサイルの発射及び核実験を非難するとともに、強く抗議することを決議する。

■ 陳情

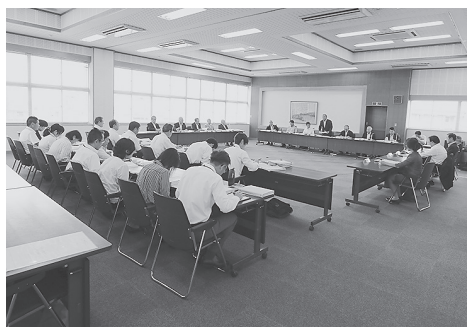
◎安倍首相の提起する憲法9条の改定に反対し、憲法を生かした政治の実現を求める意見書の提出を求める陳情  
陳情者 中野市平和委員会  
会長 馬島 直樹  
(中野市大字吉田1154番地の11)



決算特別委員会

議会改革の一環として、9月市議会定例会にて議員18名で構成する「決算特別委員会」を設置しました。これまで各常任委員会ごとに審査していた決算議案等について、今後は決算特別委員会において審査することとしました。

多くの議員が特別委員会に参画し、多角的な視点から審査を行い、より一層適切な審査を実施することができました。



北信3市議会議員研修会

9月29日、飯山市 文化交流館「なちゅら」にて、中野市、須坂市及び飯山市の市議会議員による研修会が開催されました。

研修会では、元全国道府県議会議長会事務局次長による「地方議会・議員に求められる役割と議会（議員）活動の在り方」と題する講演をお聴きしました。二元代表性に基づき、市政のチェック機能としての役割、また、市民の声を広く聞き、市政への提言、施策の立案を行うこと等について、学ぶものが多い研修会でした。



ご覧ください 議会インターネット録画中継

市議会では、本会議のインターネット録画中継を行っています。インターネット録画中継は、パソコンをお持ちの方は、いつでも本会議の様様を視聴することができます。是非、ご覧ください。

- ▶ 視聴方法 中野市議会ホームページから「中野市議会議会中継」にアクセス（パソコンのみ閲覧可能です。）
- ▶ 中野市議会ホームページ <http://www.city.nakano.nagano.jp/categories/shigikai/>
- ▶ 配信している議会中継 平成27年12月市議会定例会分～
- ▶ 配信時期 定例会・臨時会終了後、約2週間後に配信します。



表紙の写真

中野市総合防災訓練 防災フェア2017

8月27日、防災広場において、総合防災訓練の一環として「防災フェア2017」が開催されました。

このイベントは、楽しみながら家庭での防災力を高めていただくことを目的として開催されたものです。

当日は、20の団体・企業が出展され、多くの市民の皆様が来場をいただきました。

お子さんを連れて来場される方も多く、家族揃って防災について考える良い機会になったのではないのでしょうか。

防災フェアには、市議会議員も参加し、電気、水道ガス等の被災時の復旧方法等の説明を受け、また、災害時における連絡方法等を実際の機器により体験しました。



市議会を  
傍聴しませんか

本会議は一般に公開され、個人でも団体でも自由に傍聴できます。

市政を知る良い機会です。みなさん議会傍聴にお出かけください。

なお、日程は議会事務局へお問い合わせいただくか、市のホームページにも日程等や市政一般質問の状況を掲載しております。

次の市議会定例会は12月です。

第4代後期  
議会だより  
編集委員名簿

(順不同)

- |       |       |
|-------|-------|
| 委員長   | 松野 繁男 |
| 副委員長  | 原澤 年秋 |
| 委員    | 芦澤 孝幸 |
| 堀内 臣夫 | 宇塚 千晶 |
| 保科 政次 | 青木 正道 |
| 阿部 光則 | 永沢 清生 |
| 町田 博文 |       |

あとがき

9月には、多くの地区で秋祭りが開かれました。あちらこちらから笛や太鼓の音が聞こえ、夏の終わりが感じられた頃でもありました。

五穀豊穡を願うお祭りは長い歴史と伝統があり、それぞれが地区の方々によって受け継がれて来たものです。しかし、近年このお祭りも大きく様変わりをしていきます。やはり少子高齢化、人口減少の影響が出ているものと思われ、獅子舞をする子ども達が集まらず、「隣組から手を借りる等のやりくりをしている」そんな声をお聞きしました。また、やむを得ずお祭りを神事のみにしてしまう地区もあるようです。私たちが子どもの頃には考えられないことでした。中野市も少子化対策等を行っていますが、予想を上回る人口減少となっております。あの心地良い「笛、太鼓の響き」がいつまでも地域の伝統として続いて行くことを願ってやみません。